過ぎゆく日暦（カレンダー）

松本清張

新潮社

過ぎゆく日暦

松本清張

新潮社

過ぎゆく日暦

平成2年4月15日印刷
平成2年4月20日発行

著者　松本清張

発行者　佐藤亮一

発行所　株式会社新潮社
東京都新宿区矢来町71　〒162
電話業務部(03)266-5111
編集部(03)266-5411
振替東京4-808番

印刷　二光印刷株式会社
製本　大口製本株式会社

© Seicho Matsumoto 1990, Printed in Japan
乱丁・落丁本は，ご面倒ですが小社通信係宛お送り下さい。送料小社負担にてお取替えいたします。

ISBN4-10-320426-5 C0095
価格はカバーに表示してあります。

過ぎゆく日 暦（カレンダー）・目次

ニューヨークの死体収容所。あるオランダ人。 7
まえがき　昭和五十六年一月二十二日（木）　一月二十三日（金）　一月二十七日（火）
二月三日（火）　二月四日（水）　二月五日（木）　二月六日（金）
民俗学の衰退。イランの拝火神殿趾。モーツァルトの「魔笛」。 19
昭和五十六年三月三日（火）　昭和四十八年四月十五日（日）　四月十六日（月）
一葉と緑雨。芥川と三島。中勘助とその嫂のこと。 34
昭和五十六年十一月十五日（日）
森鷗外の死とその創作欲の内側。 61
昭和五十六年十一月十五日（日）――承前
森鷗外と乃木将軍の死。白樺派のこと。 91
昭和六十一年六月七日（土）　六月十日（火）　六月十三日（金）　六月二十九日（日）
七月二十九日（火）　八月五日（火）　八月十八日（月）　八月十九日（火）　八月二十二日（金）　八月二十三日（土）　八月二十五日（月）　八月二十六日（火）
イギリス紀行――ヨーロッパ巨石文化。ロンドン。シェトランド島。 117
昭和六十年九月二日（月）　九月五日（木）　九月六日（金）　九月十日（火）　九月十一

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

日（水）　九月十二日（木）　九月十四日（土）　九月十五日（日）　九月十七日（火）
九月十八日（水）　九月十九日（木）　九月二十日（金）
イギリス紀行――スティンネス巨石群。城壁遺跡。 145
九月二十日（金）――承前　九月二十一日（土）　九月二十二日（日）　九月二十三日（月）
イギリス紀行――スコットランドの石塔。ヨークシャー婦女連続殺害事件。 163
九月二十三日（月）――承前
イギリス紀行――「嵐が丘」を訪う。 172
九月二十三日（月）
ヨーロッパ巨石文化の展望。 206
九月二十四日（火）　九月二十五日（水）　九月二十六日（木）　九月二十七日（金）
昭和六十年五月二十九日（水）
運不運　わが小説 227
平成元年十月十五日於東京・小平市松明堂書店ホール

過ぎゆく日暦（カレンダー）

ニューヨークの死体収容所。あるオランダ人。

まえがき

日記を記けたことがなかったが、昭和五十五年からはじめた。「日々の出来事」よりも、ふと思い浮んだこと、読書で得たことの備忘のためである。いわば、ありあわせの紙片やチラシ広告の裏にメモを走り書きするのと同じである。

しかし、じぶんだけの心覚えなので、第三者にはなんのことだかわかりにくい。そこでこの抄録にあたり自注を付けた。☆印は自注。

書いているうちに「自注」が多くなるのは、仕方がない。

なお、昭和五十五年から五十七年までのものは「清張日記」（日本放送出版協会刊）にあるが、本稿は五十六年以降である。

昭和五十六年一月二十二日（木）

某出版社の依頼により、在ニューヨークの木村ハルナのアドレスを教える。

木村ハルナはマンハッタン方面の警察分署で日本人被疑者や証人らとの通訳をなす女性。

先年自分がニューヨークに行ったとき彼女の世話でハーレムを巡回するパトカーに乗り、また死体収容所を参観もできた。

☆ 彼女は三十すぎの痩せぎすのひと。警察方面の通訳では長いようだった。独身。履歴は聞いてない。

ニューヨークの死体収容所は「モルグ」とは標示してなく、リーガル・メディシン・ホスピタルの名称を掲げ、清潔な白亜の病院の外観。しかし、内部に入り、廊下を奥に進むと冷凍室の死体置場は映画で見る通り大形ロッカーの抽き出し式の棺がいっぱい。ロッカーに入れきれない死体は暗い廊下の横にごろごろ寝かせてある。番人もいない。うっかりすると、死体と知らずにつまずきそうになる。これは映画には出てこない。屍体のほとんどは黒人かプエルトリコ人だった。

広々とした解剖室に入ると、ここは「流れ作業」である。およそ四十体くらいが一列にならんだ解剖台の上に仰向きになって執刀を受けている。その壮観（？）にたじろぐ。医員は三十名くらい。婦人の死体なし。

頭蓋骨を開けられるばかりにされ、胸部にはY字形にメスを入れられた解剖準備のグループは左側、以下解剖手順どおりに右へ横列にならぶ。死体の頭蓋骨をこじ開けて取り出した脳髄を測定し、胸部のY字形を押し開いて内臓を両手でつかみ出すグループ。刺傷痕や弾痕を検べるグループ。最後の右側の列が縫合、復元の作業である。

ずっと前に警視庁の大塚監察医務院を参観したことがあるが、あそこでは変死体を一体ずつ解剖する。ここのように四十体が流れ作業でいっぺんに処理されるのを見ると、強い

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

異臭とともに気分が悪くなる。その内臓をラーメンのように両手ですくってつかみ出しているのが白衣の美人助手たちで、彼女ら見学者たちの蒼ざめた顔に笑っている。

そのうち、主任監察医らしいのが忙しそうな足どりで入ってきた。その日系の顔が知人に似ている。けだるげに下った眼蓋でこっちのほうを見て、あいつらは何だ、と部下に訊き、返事を得て"Good"とうなずく。

聞けば、被害者のほとんどはゲイだという。ゲイの嫉妬は男女のそれよりも激情型で、執念深いとのことだった。ピストルで撃ち合った兄弟の死体がある。ホモの愛人のとりあいだという。ほとんどがピストルで、刃物は少い。帰りに職員が「法医学図集」(Atlas of Legal Medicine by Tomio Watanabe with Michael M. Baden) をくれた。内容の原色写真は刺戟が強すぎて、何回も披く気がしない。

出版社は東京からニューヨークの木村ハルナさんに三回くらい電話したが、不通だったそうである。彼女はどうなったのだろうか。

一月二十三日(金)

いつかは柳田國男と折口信夫とを書きたいと考え、かねてからその資料を集めたり、また両人をよく知る人々の話を聞いたりした。

左の「柳田・折口の対照表」はあくまでも自分の心覚え、当座のメモ。

9 ニューヨークの死体収容所。あるオランダ人。

柳田 國男		折口 信夫
	血液型	A型
明治8年（1875）7月31日	生年	明治20年（1887）2月11日
兵庫県神東郡田原村（神崎郡福崎町）	出身地	大阪府西成郡木津村
医者（儒者）	家業	医者兼生薬屋
「私の家は日本一小さい家」（柳田）	家庭	芸事（芝居など）愛好の雰囲気の家庭
男系家族	家族	女系家族
病弱。神隠しに遇う。記憶力抜群。他家に預けられる。多感。	幼少期	里子に出される。女の子のように赤い着物を着せられて育つ。記憶力抜群。多感。
茨城県布川町の長兄（医者）に預けられる。	少年期	歌舞伎など芝居を観る機会多し。
貴族趣味。交遊は上層階級。	性癖	潔癖性。女ぎらい。
全国をあまねく旅行す。民俗採集。	旅行	多くの時間を旅行に費した。同じ処を繰り返し旅行した。
次兄 井上通泰、弟 松岡静雄、末弟松岡映丘（日本画家）。家族多し。	兄弟	庶民階級。
学問上の先輩・後輩の序列を考える。師弟観きびし。	師弟	師弟愛強し。
間引の絵馬に衝撃をおぼえたことあり	過去	自殺未遂（3回）
東京帝国大学。官立。	出身校	国学院大学。私立。
官吏（農政官僚。貴族院書記官長までゆく）	職業	大学教授（国学院、慶応）
妻帯、1男3女あり。養子。	結婚	生涯独身。弟子1、2名と暮す。
和歌、のちやめる。	文学	和歌をつくる。（雅号・釈迢空）
（方法）資料を弟子らに集めさせ、分類し系統をつくる。現実的。必ずしも結論なし。弟子的組織の利用。	民俗学	古典など国文学の上から資料を渉猟。観念的。直観的な結論に当否がある。全国的な弟子組織なし。
風貌端正。口髭、眉太くして濃し。	風貌	富士額、眉うすし、額に青痣あり、丸坊主頭なりしも、晩年頭髪を伸ばす。
喫煙。	嗜好	煙草はまったく吸わず。健啖家。
天皇に特別の敬愛あり。	天皇観	天皇に特別の敬愛あり。
「民俗学の始祖」と見られる。	評価	世間の一部からは「天才」と見られる。カリスマ性。

一月二十七日（火）

福山敏男氏（京都大学名誉教授）来信。

「拝復　本月二十二日付の御奉書拝見しました。奈良時代の西域文化と日本との関係について強い関心を持たれて調査研究をお進めになっている御様子で、いつもながら感銘いたしております。御申越の順序によって私考を書いてみます。

（1）唐招提寺金堂の様式について

唐時代の様式を強く受けたものというのが建築史家の常識というところでしょう。長安慈恩寺大雁塔の一重めの平面中央、壁面に嵌めこんである半円形の石に線刻された仏殿の様子と、わが唐招提寺金堂の姿や細部がよく似ております。そういう点が、この金堂を唐様式と見る根拠になっているわけです。中国出版の建築史の本では、唐様式の説明のところでは日本の唐招提寺金堂を図示してあるのをよく見ます。さて、この金堂に西域、特にイランの影響があるかどうか――こういう問題は、わたしたちは考えたことがありませんので、不意打ちをくらった感じで、即答できません。建築の軸部（柱とか梁、桁とかの骨組みの部分）ではやはり唐様式（プラス日本古来の技法）が基調になっているのでしょう。堂内の（仏像とか文様とかの）彩色画などの細部をとってこの問題は考えるべきものだろうと思います。そうすると『唐様式の絵画におけるイラン様式の影響』という大きなテーマになるわけです。シルクロード研究が盛行している今日ですからこのようなテーマの論文は書かれているだろうと思います。

（2）如宝の伝記のこと

11　ニューヨークの死体収容所。あるオランダ人。

国史や仏教史の研究家で、特に如宝伝の研究論文を書いた人があるかどうか、小生の記憶にはありません。戦前に読んだ境野黄洋博士の『日本仏教史講話』に、たしか如宝のことが書いてあったと記憶しますが、そう長い文章ではなかったと思います。（今手もとに同書はありません。）『望月仏教大辞典』には『如宝』の項目はありませんね。例の『創作ノート』に収録して下さる小生の手紙のうち、昭和四十九年八月一日付の分を見ますと、やはりお求めによって『如宝』について諸資料を書いた部分があります。そのうちでは『七大寺年表』や『僧綱補任』の延暦十六年の条に、

唐国胡国人、有大国風、能堪一大戒師、所業弥礼南無如意宝珠饒財宝仍取上下字、為名、故曰如宝

とあるのが異色というべきでしょう」

唐招提寺は安如宝の独力による建立である。だが、学者はあまりこれに触れず、ために世間へ鑑真の建立との誤解を与えた。これ学者が東大寺資料を偏重するあまりである。当時のアカデミーの主流東大寺に排斥され、蔑視され、無視された揚州の唐僧鑑真と胡国僧如宝の痛憤が唐招提寺（はじめ「唐提寺」）を独力で建立させた。

中国唐代の文献には鑑真の名は無し。

☆高弟法進（ほっしん）は師鑑真に背いて東大寺に残り、聖武帝没後、故新田部親王の廃宅に遷された鑑真および思託（したく）などの弟子らが、これを私立の寺とし、唐提寺と名づけた。東大寺側は鑑真を中傷すること甚しく、ために思託は淡海三船（「懐風藻」の撰者）に頼んで鑑真の東行

記を撰してもらったが、淡海の「唐大和上東征伝」における脚色は度が過ぎ、曲筆舞文に近い。早稲田大学教授安藤更生は東征伝を事実なりと信じて論文を書く。

安如宝は安国の人。

安国は安息国（漢書西域伝）で、ペルシアのこと。波斯人とも書く。波斯人が八世紀に奈良に居住していたことは聖武紀にも出ている。わたしはペルシア人安如宝の努力をテーマに小説を書こうとした。安如宝を安国（中央アジアのボハラ。タシケント付近）の人とする説があるが、安息国のペルシア系としたほうがよい。

二月三日（火）

オランダのライデン大学日本学科教授フレーク・ファン・フォッスの妻美弥子さん、午後一時に来訪。教授夫妻とは、ハーグの海岸保養地スケヘニンゲンのピーターズの料理店（中華と日本料理店）で会ってより約十年ぶり。美弥子さんは自分の「アムステルダム殺人事件」をオランダ語に訳して出版したのが好評につき、つづけて他も訳したしという。「死の枝」「隠花の飾り」など短編集を渡す。彼女の話。

オランダ王室。現ユリアナ女王はまもなく引退。あとは長女（女ばかり四人）が女王をつぐ。新女王は「進歩派」。中国に行ったとき中国の政策に共鳴したという。その夫はドイツ人。

ユリアナ女王は、夫君がロッキード社より収賄した（田中角栄と同時期）ことに激怒し、一切の公職を辞せよ、と夫に迫った。夫は現在一切の公職についていない。女王があの人で

13　ニューヨークの死体収容所。あるオランダ人。

なければといって婿にした夫君はプレイボーイ。

先帝も女好き。ときどき、その「落しだね」というのがあらわれ、オランダ政府をあわてさせている。が、「天一坊」的な進展はない。

女王は自分のブスを意識して、若いときから公式の席に出たがらなかった。その「はにかみ屋」のために国民に絶大な人気があり、「かみさん」的な顔が主婦層にいっそう親近感をもたせているとのこと。

ヴァン・ピーターズのこと。

夢見るロマンチスト。もとはホテルのバンドにいたドラムマン。現在の妻（中国人）と恋愛していっしょになった。音楽家、文学者、学者などが大好きで、歓迎する。子供なし。

中国女性のピーターズ夫人は彼の好きなようにさせているようだが、しっかり者。ピーターズは、一時オランダ航空の機内食の工場を持っていたが（自分もピーターズに案内されたことがある）、それも売り払ってしまい、日本料理店も閉めた。彼は音楽家である自負が忘れられず、バンドを編成して自らドラム叩きになったが、六十近い年齢のため若い楽士の感覚には追い付けず、いまや置き去りにされたかっこう。

美弥子さんの話から、火が消えたような「遠東飯店」の奥で、顎髭を撫でながら背をかがめて座っている老いた（五十をこしているか）ピーターズの姿が眼に浮ぶ。それでも店には、日本人のメイドがまだ一人居る由。美弥子さんは云う。「ピーターズは人はいいが、小器用なためにあっちにもこっちにも手を出して、ひとつことに定着しない。近頃はノイローゼに陥っています。男も更年期には情操不安定になるものでしょうね」

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com